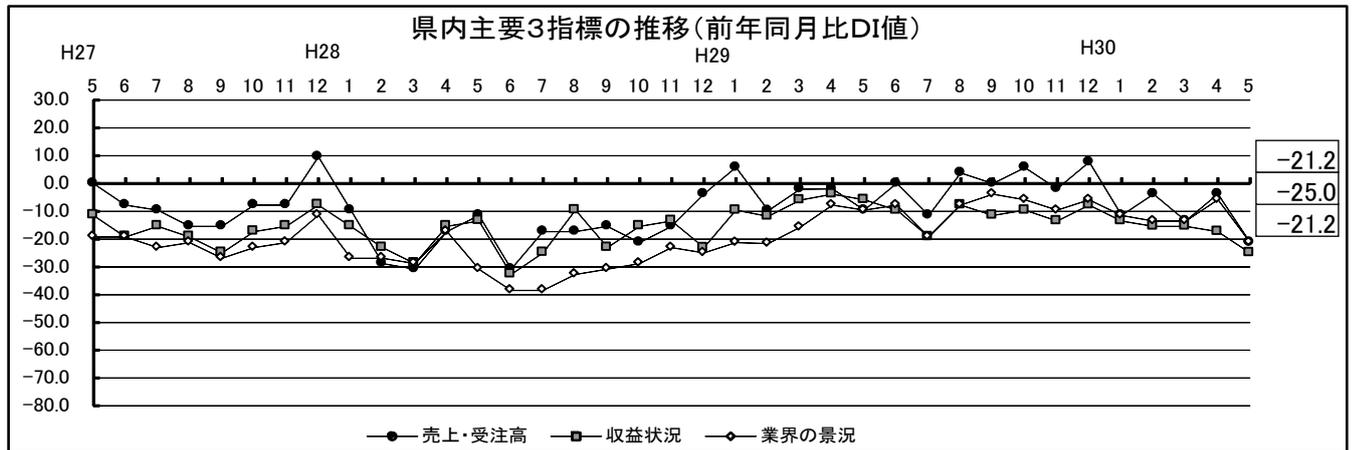


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成30年5月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 5月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「販売価格」のみが上昇し、「売上高」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の7指標が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より17.4ポイント下降し-21.2ポイント、「収益状況」が前月より7.7ポイント下降し-25.0ポイント、「業界の景況」が前月より15.4ポイント下降し-21.2ポイントであった。
- 製造業・非製造業ともに9指標中7指標が悪化、特に、主要3指標（売上高・収益状況・業界の景況）は大幅にダウンした。この傾向は、全国の指標でも同様に見受けられる。原材料価格や人件費の高騰などコスト上昇が経営を直撃するとともに、消費者の支出抑制が強まってきたことも相まって、景況感は総じて悪化している。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-21.2	-17.4	-11.5	-1.1
収益状況	-25.0	-7.7	-19.9	-2.8
業界の景況	-21.2	-15.4	-17.6	-1.9

売上・受注高

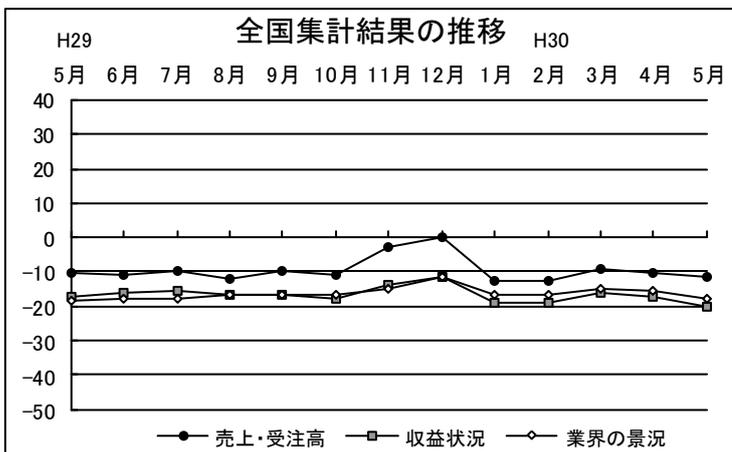
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より17.4ポイント下降し-21.2ポイントとなった。全国においては、前月より1.1ポイント下降し-11.5ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より7.7ポイント下降し-25.0ポイントとなった。全国においては、前月より2.8ポイント下降し-19.9ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より15.4ポイント下降し-21.2ポイントとなった。全国においては、前月より1.9ポイント下降し-17.6ポイントとなった。



-概況-

5月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「販売価格」のみが上昇し、「売上高」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の7指標が下降した。主要3指標は、「売上高」が前月より17.4ポイント下降し-21.2ポイント、「収益状況」が前月より7.7ポイント下降し-25.0ポイント、「業界の景況」が前月より15.4ポイント下降し-21.2ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中1業種が上昇、4業種が低下し、非製造業で6業種中1業種が上昇、3業種が低下した。「収益状況」は製造業で2業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で3業種が低下した。「業界の景況」は製造業で7業種中3業種が低下し、非製造業で4業種が低下した。

製造業・非製造業ともに9指標中7指標が悪化、特に、主要3指標（売上高・収益状況・業界の景況）は大幅にダウンした。この傾向は、全国の指標でも同様に見受けられる。原材料価格や人件費の高騰などコスト上昇が経営を直撃するとともに、消費者の支出抑制が強まってきたことも相まって、景況感は総じて悪化している。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	△	△	×	△	△	△	△
木材・木製品	×	△	△	△	△	×	△	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	○	△	×	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	×	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	-50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	-50.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0	-50.0	0.0	0.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
製造業	-24.0	-16.0	8.0	-4.0	-20.0	-20.0	-12.0	0.0	-20.0
卸売業	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-28.6	-14.3	42.9	-14.3	-42.9	-28.6		14.3	-42.9
サービス業	-33.3		0.0	-16.7	-50.0	-16.7		-16.7	-16.7
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	-25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-18.5	-10.0	11.1	-7.4	-29.6	-11.1		0.0	-22.2
全体	-21.2	-14.3	9.6	-5.8	-25.0	-15.4	-12.0	0.0	-21.2

図表3～【指標別DI値の推移】

	29年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	前月比
売上高	-9.6	0.0	-11.5	3.8	0.0	5.8	-1.9	7.7	-11.5	-3.8	-13.5	-3.8	-21.2	-17.4
在庫数量	-8.6	-14.3	2.9	-2.9	-17.1	0.0	-17.1	-2.9	-28.6	-20.0	-14.3	-14.3	-14.3	0.0
販売価格	5.8	3.8	3.8	1.9	1.9	1.9	-1.9	3.8	1.9	7.7	5.8	3.8	9.6	5.8
取引条件	-1.9	0.0	-1.9	-1.9	-1.9	-5.8	-5.8	-3.8	-3.8	-1.9	-3.8	-3.8	-5.8	-2.0
収益状況	-5.8	-9.6	-19.2	-7.7	-11.5	-9.6	-13.5	-7.7	-13.5	-15.4	-15.4	-17.3	-25.0	-7.7
資金繰り	0.0	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	-7.7	-11.5	-9.6	-9.6	-9.6	-15.4	-5.8
設備操業度	8.0	-4.0	-16.0	-12.0	-12.0	8.0	20.0	8.0	-16.0	8.0	-4.0	-8.0	-12.0	-4.0
雇用人員	1.9	-1.9	3.8	5.8	5.8	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	-5.8	1.9	0.0	-1.9
業界の景況	-9.6	-7.7	-19.2	-7.7	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-11.5	-13.5	-13.5	-5.8	-21.2	-15.4

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-100.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	0.0
木材・木製品	-25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	25.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	-25.0
鉄鋼・金属	-25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	-24.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	-4.0	0.0	-12.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	28.5	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0		0.0	-14.3
サービス業	-16.7		0.0	-16.7	-33.3	-50.0		-16.7	-16.7
建設業	-40.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-50.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	-50.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-11.1		0.0	3.7	-3.7	-14.8		-11.1	-3.7
全体	-17.4	0.0	5.8	-2.0	-7.7	-5.8	-4.0	-1.9	-15.4

特記事項

情報連絡員報告（平成30年5月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	栃木県としてはDCキャンペーン等が行われており、観光地を中心に業績を伸ばしているところも多い。しかし菓子業界としては、気温の上昇による消費の落ち込みもある。
染色整理業	季節的変化（一部分の増加）があるも、全体的には変化なし。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	春夏シーズンは部分的にはまずまずの反応でしたが、全体的にはまだまだ物足りない結果で、イマイチでした。早い所では7月から来シーズンの企画が始まるので、そこに向けて各社とも新提案に注力している。
一般製材業	4月・5月は例年売上が高いのですが、今期はなかなか景気が良い状態とは言えません。5月は連休もあり日数は減りますが、前年対比としての数字は悪い結果となってしまいました。人件費を抑える等して、支出を抑えている現状である。
集成材製造業	杉、桧等の国産材にはいい風が吹いているようだが、輸入材は日々悪くなっているように感じる。輸入元は日本以外の需要にあわせるようにシェアを伸ばし、日本には無理して販売することはなくなった。日本の魅力が減っているように感じた。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	鉄鋼向け、土質向け石灰は、若干増加傾向である。農業用では、6月が価格の改定時期にあたるため6月の前倒し等で出荷が増加している。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品関連…自動車関連は横這い。 機械設備関連…半導体関連、自動車関連、工作機械横這い。 プレス金型関連…自動車部品関連、工作機械関連は横這い。
一般機械器具製造業	30年5月の報告は前年同月と比較し、全体的に不変という結果になっております。しかし一部では、仕入単価の上昇傾向もあり、懸念材料はあるものの売上増の感触もあるようです。そのような状況下、設備投資には慎重であり、操業度増加は難しく、相変わらず人手不足、増産対応が厳しいという報告もある。
一般機械器具製造業	会員企業が事業継承を取引先企業へ譲ることとなり手続きを完了した。景気は相変わらずよくない状況にある。
各種商品卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 昨年同期と比べ大きな景況変化はない。 ○産業用ガス卸売業 製造業の好調な動きから、前年同期比は売上高等増加となっている。 ○食品添加物・調味料卸売業 食品関連業界は、比較的景気の影響を受けにくい業種であり、安定した状況が続いている。 ○理化学機材卸業 取引先の研究開発費は、好景気においても予算の増減があまりなく、現状では安定した取引が続いている。
食肉小売業	国産食肉は高値で安定。国産豚肉は国内病気（PRRS呼吸器の病気）発生の為、高値。鶏肉はブラジル国内の全般トラック輸送ストの為、相場高値。6月は先が見えない状態で、利益を圧迫している。
花・植木小売業	花屋にとって期待の高い母の日商戦は、天気にも恵まれた前日の土曜日はよく売れたが、当日はあいにくの空模様となってしまう、小売りには厳しい販売となった。一方、カタログやインターネットでの販売は前年を上回る売れ行きで活況をみせたところも多かったようである。今期の現状をしっかりと分析をして、来年の販促につなげたい。
自動車整備業	自動車の車検整備を取り扱う関係上、自動車税納税に絡み、この時期は操業度が上昇している。

<p>旅館・ホテル</p>	<p>宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇していたが、2018年になってからの4か月間に少し停滞感がある。宴会に関しては5月から6月の総会開催時期を堅調に推移し、例年通りの数字を作れたと感じている。</p>
<p>ビルメンテナンス業</p>	<p>ビルメンテナンス事業が減収減益となっている他は、ほぼ前年並みの状況で推移している。</p>
<p>内装工事業</p>	<p>栃木県室内装飾事業(協)の防炎ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは36%減、敷物用ラベルは54%減、壁装用ラベルは45%減であった。ラベルの支給(売上)金額では39.6%減であった。前年度4月～5月期の累計では、2.5%減であったが、6月からの売り上げに期待したい。</p>
<p>一般貨物自動車運送業</p>	<p>ドライバー不足により稼働率の低下及び急激な燃料費の高騰が経営悪化の大きな要因となっている。</p>
<p>貨物軽自動車運送業</p>	<p>ゴールデンウィーク後の物流動向は、昨年同期比で減少傾向にある。貨物は全般的に落ち込み、特に食品関連貨物が減少している。とちおとめ(苺)の定期配送は5月末をもって終了した。なお、燃料費の高騰により事業経営は圧迫している。</p>
<p>一般乗用旅客自動車運送業</p>	<p>前年同月比でほぼ変わらず推移している。改正特措法により7月から営業日の削減を実施する予定。</p>
<p>大谷石採石業</p>	<p>前年同月比で微減ですが、ほぼ同じで推移した。人造大谷石(ブロック)の動きが活発になっている。</p>